

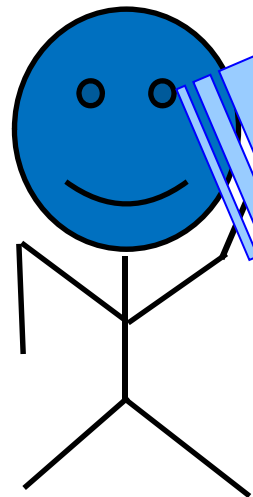
地理教育方法・評価 演習



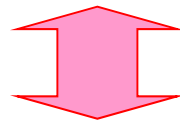
第4講 教材の機能と活用(3)

— 社会科授業で、どのような教材が、なぜ必要か —

Ⅰ 教材とは何か、その分類



教育内容

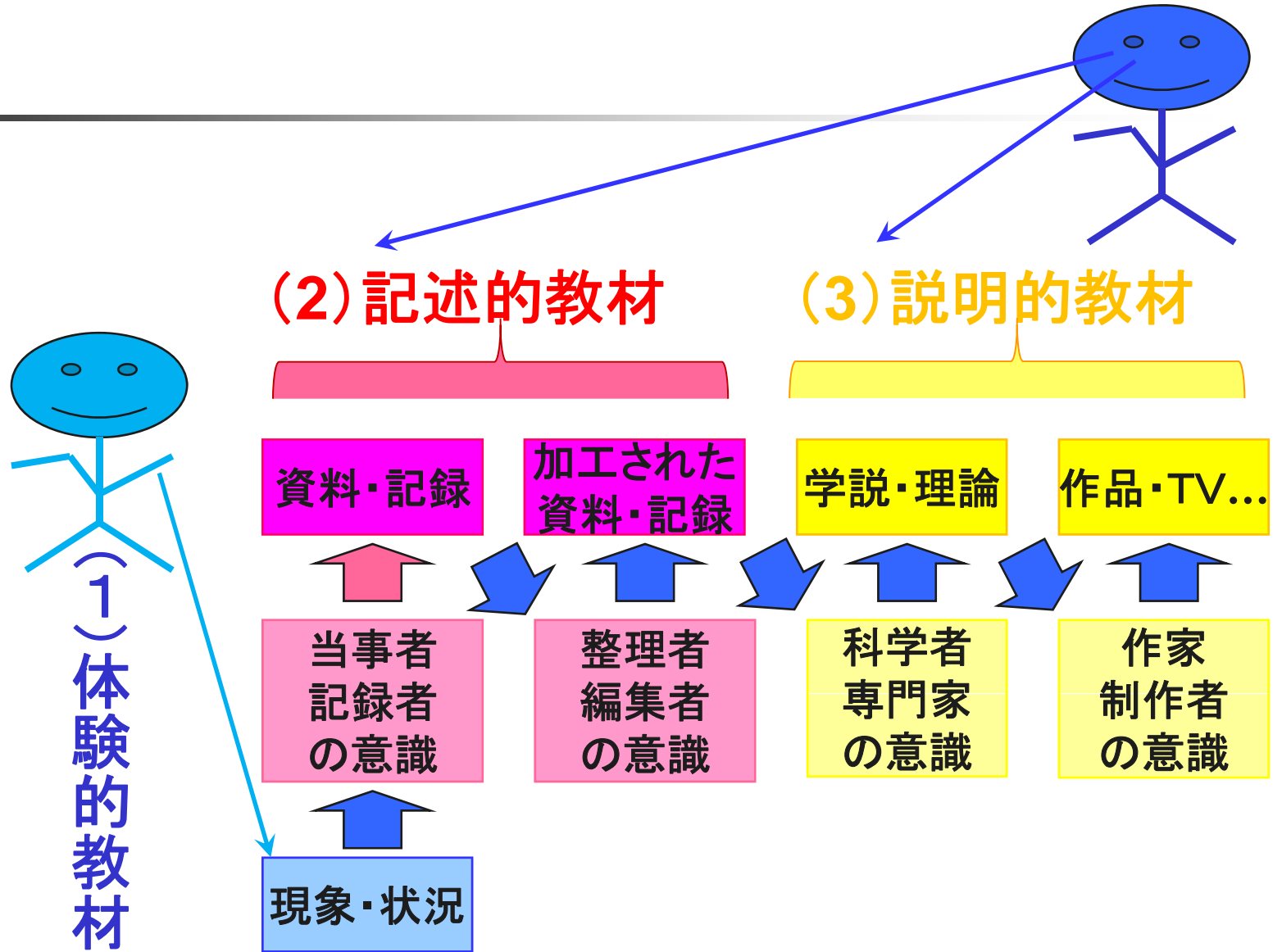
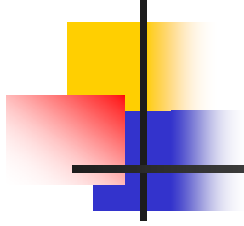


教材

過去の、他所の、目の前の
社会(らしきもの)

問題は、この黄色の部分
どのように教材として変換するか！
→様々な次元・様式が考えられる

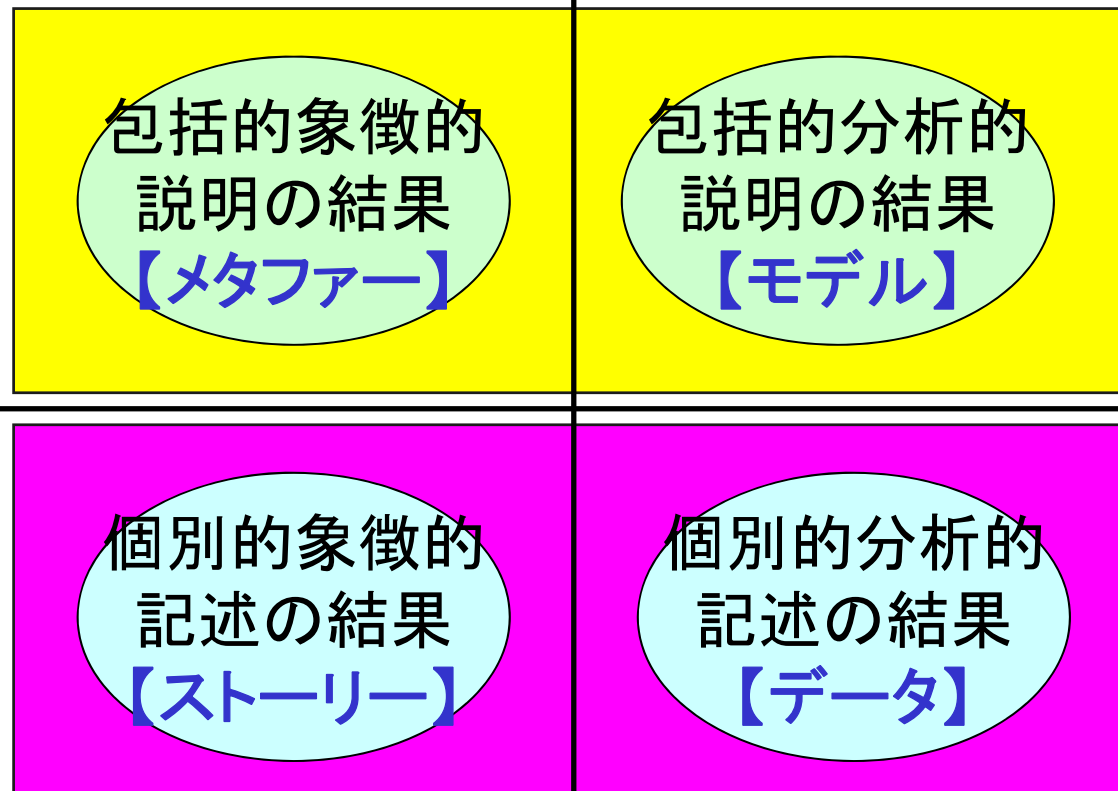
教材(material & media)成立の3パターン



II 記述的教材 & 説明的教材とは

対象の本質を全体的包括的に説明

主観的象徴的に再構成
価値判断を交えて意味を



客観的分析的に確定
事実判断として意味を

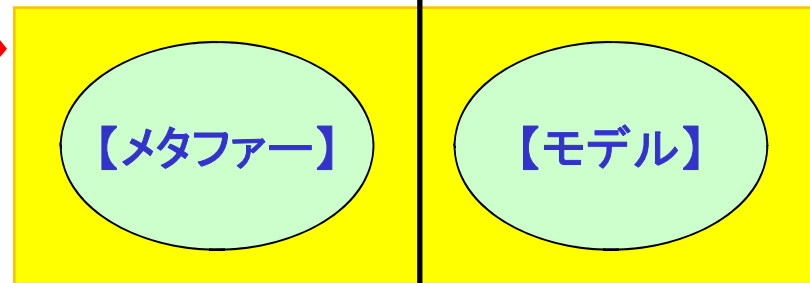
対象の現象を個別詳細的に記述

文書資料の場合

詩歌, 批評
キャッチフレーズ
キャプション

解説文, 論説

本質の説明



当事者性に基づく再構成

第三者性に基づく再構成

日記, 紀行文
経験談・自叙伝

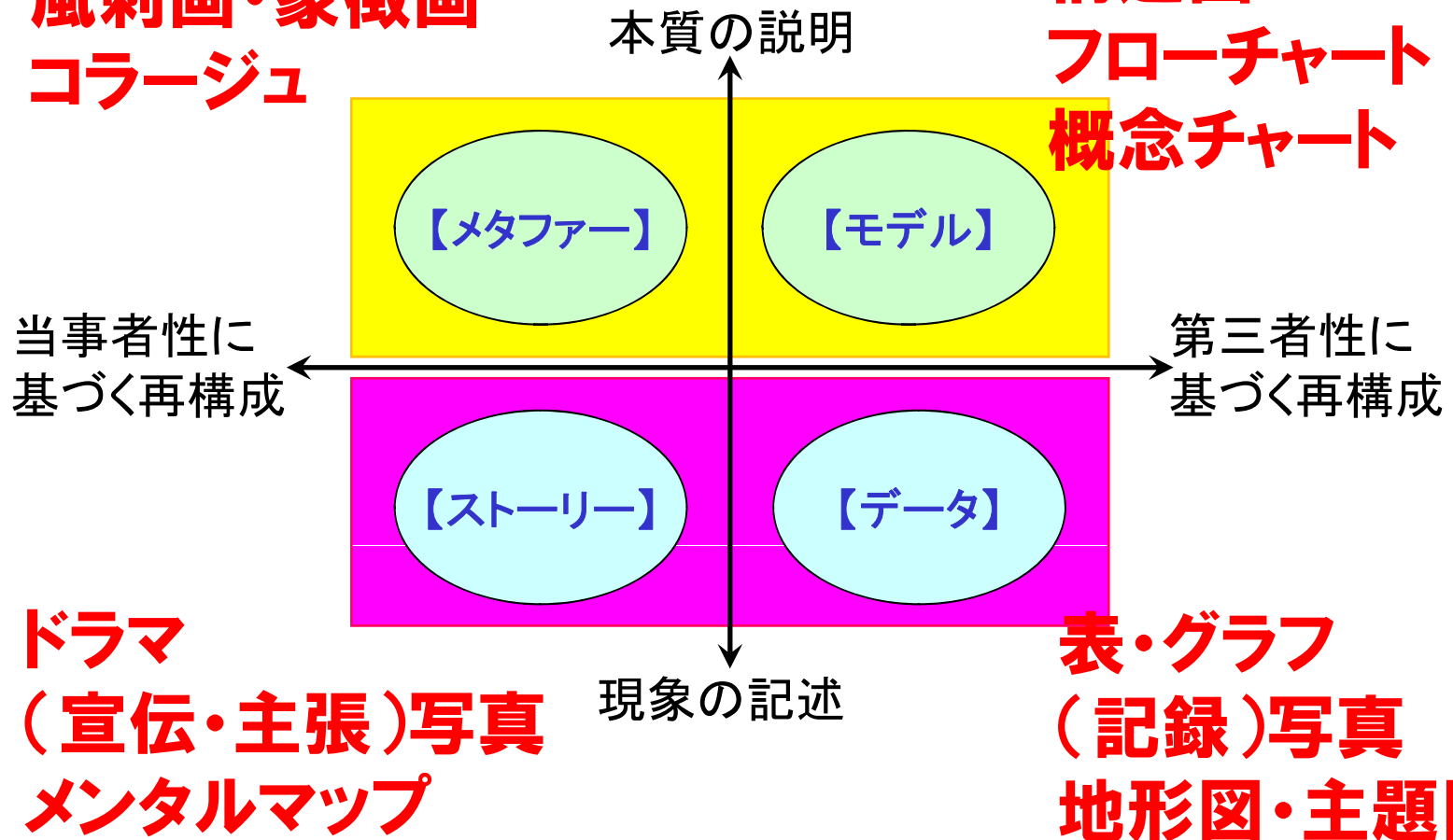
現象の記述

報道・記事
ガイドブック, 統計

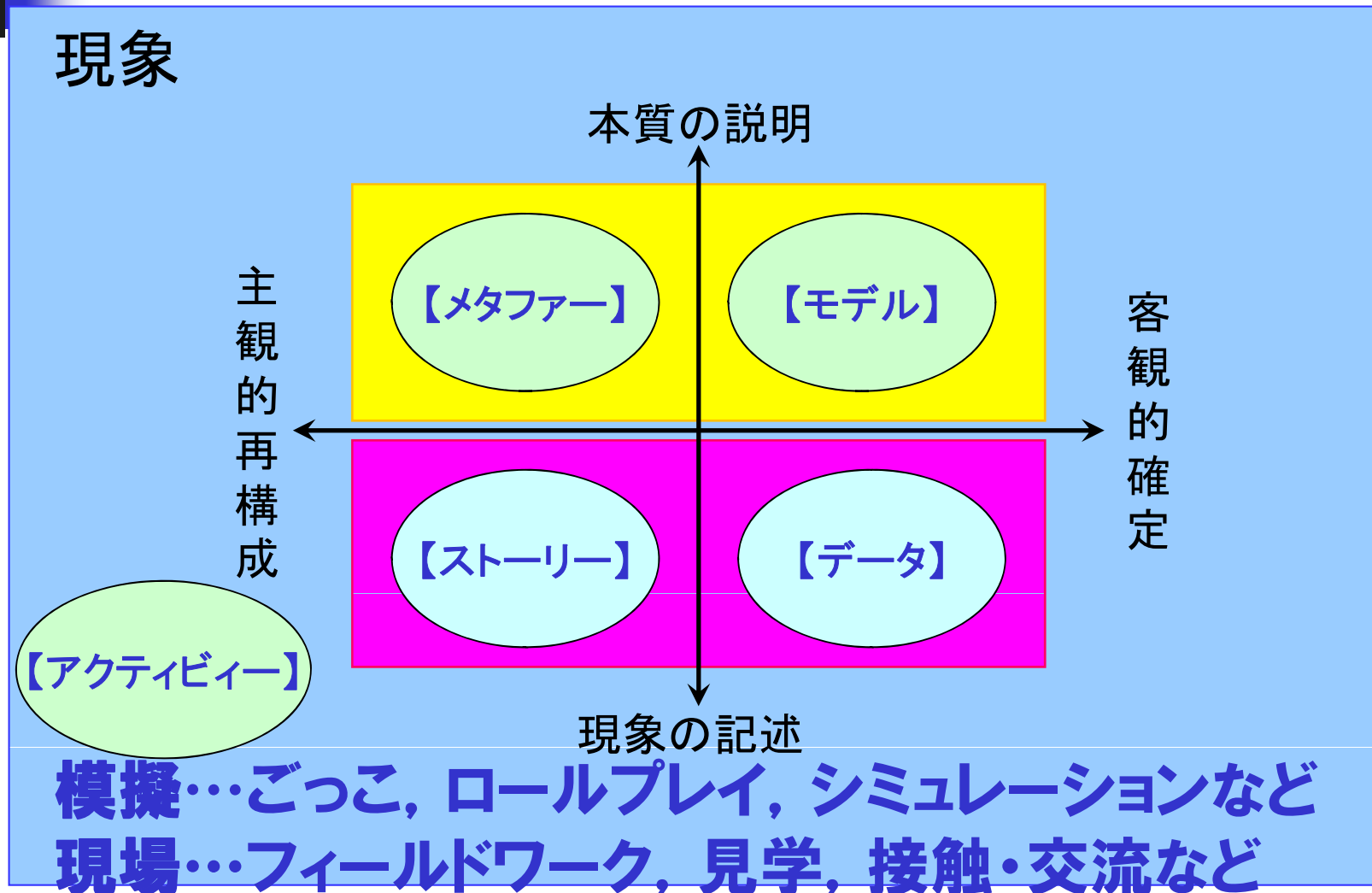
図像資料の場合

風刺画・象徴画
コラージュ

構造図
フローチャート
概念チャート



III 体験的教材とは





【本日の演習1】

坂田・佐藤実践で扱われていた教材を、この図に位置付けてみよう。

1. 駅前町探検隊：①町の見学，②見学メモ，③町並みの写真，④絵地図，⑤キャッチフレーズのカード，⑥カードを配置したベン図，
2. スーパーマーケット：①お店の見学，②見学メモ，③店の工夫（期間・個数・対象限定）の写真，④ポップのまとめ，⑤客と店員のキャラクター図

現象

本質の説明

【メタファー】

【モデル】

主観的再構成

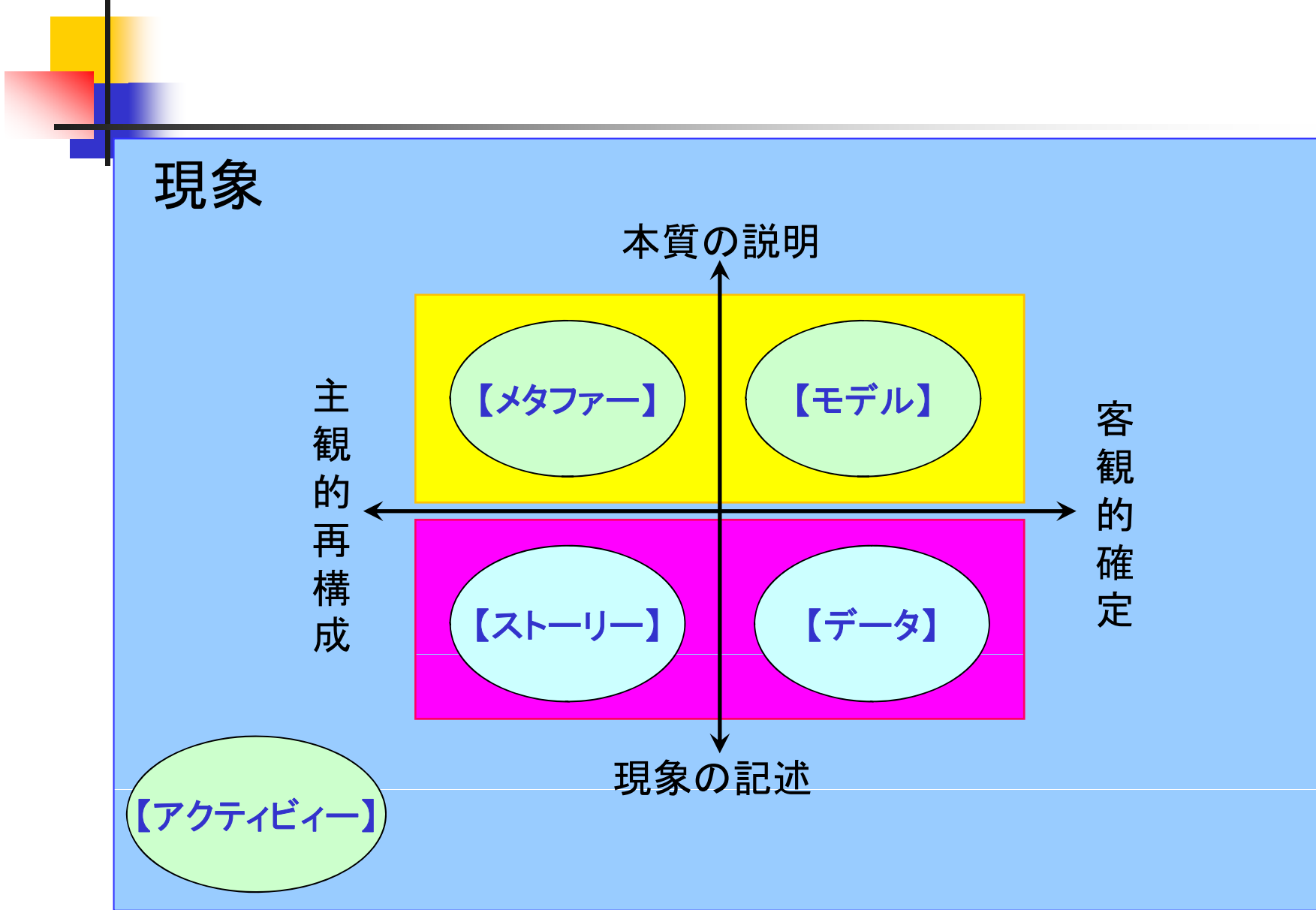
客観的確定

【ストーリー】

【データ】

現象の記述

【アクティビィー】



現象

本質の説明

主観的再構成

構成主義アプローチ

【メタファー】

【モデル】

【ストーリー】

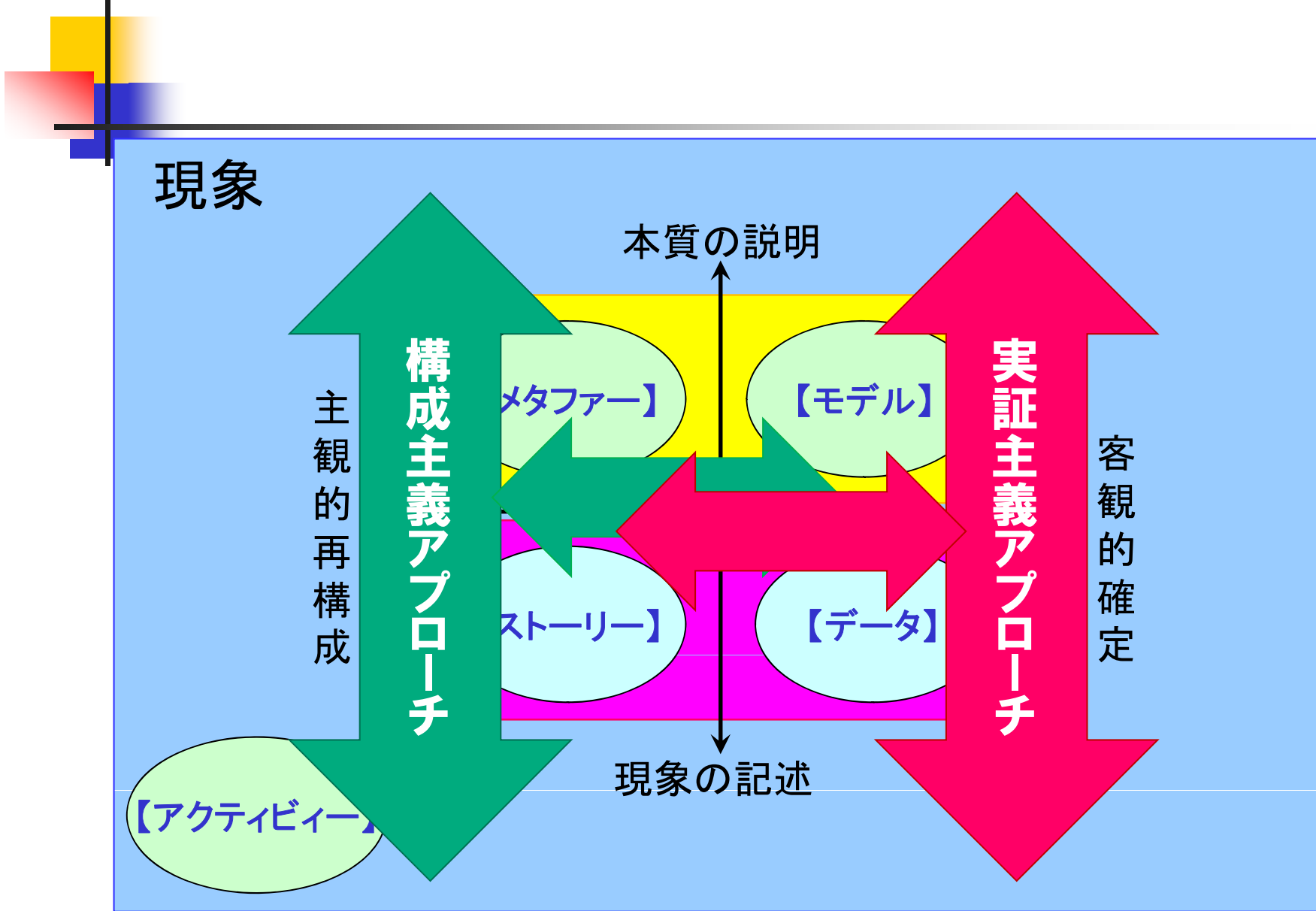
【データ】

実証主義アプローチ

客観的確定

現象の記述

【アクティビティ】





【本日の演習2】

アフリカに関する教材を、この図に位置付けてみよう。

1. それぞれの教材の特性を踏まえて、前図に位置付けてみよう。
2. それぞれの教材について、想定される発問・課題を2つずつ考えなさい。

現象

本質の説明

【メタファー】

【モデル】

主観的再構成

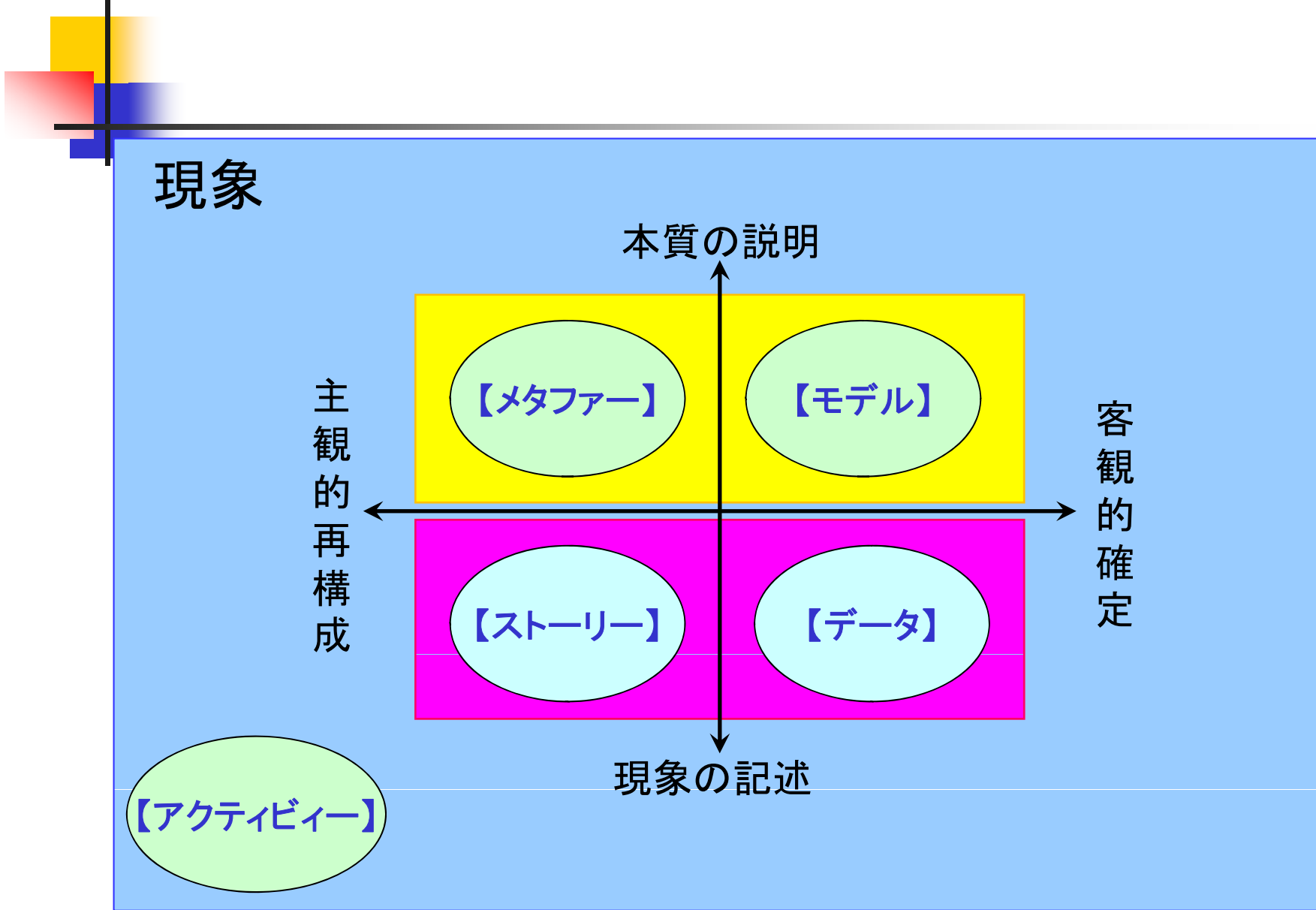
客観的確定

【ストーリー】

【データ】

現象の記述

【アクティビィー】





IV 発問・課題の役割・機能

■ 第1段階

当該教材の特性を引き出し、**教材が表現している社会の見方＝知識**を説明させる問いや課題（メタファーならば、メタファーとして）

■ 第2段階

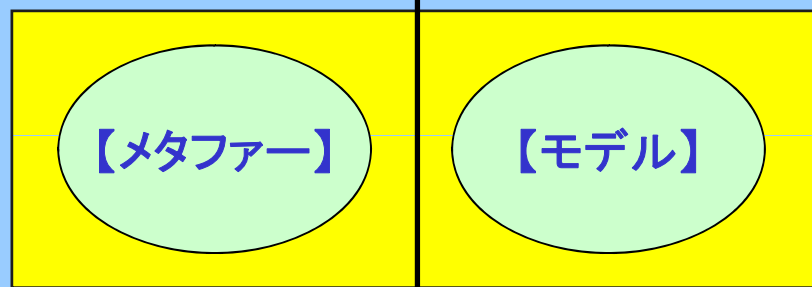
当該教材の限界を補い、**教材が表現していない、また別の社会の見方＝知識**へ転換させる問いや課題（メタファーならば、個別化・意味分析へ）

意味の構造化・一般化

(関連付けると、まとめると、他時代・他地域では)

意味の再構成

(何を表している→根拠は?)



意味の分析

(どうなっている→原因は?)

意味の記録化・個別化

【アクティビティ】
(どうだった、例えば、その人は・そこは?)